

年間学習計画 第1学年 「国語科」

広島市立宇品東小学校

年間学習目標	・相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。 ・経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。 ・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。	
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前期	うれしいひ ・絵の中から見つけたいろいろな言葉や、絵から想像したことを気軽に話し、話すことに慣れる。 じをかくせい はじめのれんしゅう ・正しい姿勢、鉛筆の持ち方を学ぶ はきはきあいさつ ・あいさつの言葉を考えて、はっきりと話す。 おはなしききたいな ・場面の様子や展開を想像しながらお話を聞いて、お話の楽しさを味わう。 あいうえおのうた あいうえお じをかこう ・言葉や文字に関心を持ち、ものと音、文字を結んで、平仮名を書いたり発音したりする。 ひらがなのれんしゅう ・文字の筆順や形・「とめ」「はらい」に注意しながら正しく書くことを学ぶ あめですよ ふたとぶた ・場面の様子を想像しながらお話を読んで、お話の楽しさを味わう。 わにがわになる ことばあそび ・言葉遊びを楽しみ、語や文字についての関心を高め、語の読み書きに習熟する。 はなしたいなききたいな ねことねっこ ・自分のことを話しながら、正しく話すことに慣れる。 「まがり」と「おれ・おりかえし」 ・「まがり」と「おれ・おりかえし」の書き方を学ぶ。 あひるのあくび みんなであいうえお ・言葉のリズムを楽しみながら詩を音読し、五十音表について理解する。 てがみ ・登場人物の気持ちを想像しながら物語を読む。 てがみをかこう おばさんとおばあさん ・自分の体験を簡単な文で書き、手紙を書くことの楽しさを感じ取る。 どうぶつのはな いしやといしや ・表現に注意しながら、書かれている事柄を正しく読み取る。 きいてきいて よんでよんで はへを ・経験したことから題材を選び、友達や家族に話したり書いたりして知らせる。 「むすび」 ・「むすび」のかたちを学ぶ。 おおきなかぶ お話のおもしろさを楽しんで読む ほんがよみたいな ・読みたい本を探して読み、読書を楽しむ。 なまえをかこう ・正しい名前を丁寧に書くことを学ぶ。 みんなにしらせよう ・生活の中の出来事を絵と文で表現する。 じゅうさくぶん	かんじのはなし かぞえた かずをあらわすかんじ ひらがなひょう ・ひらがな50音を丁寧に書くことを学ぶ。 「とめ」「はらい」「はね」 ・漢字の「とめ」「はらい」「はね」の書き方を学ぶ。 おはなしいすき サラダでげんき ・人物の登場する順序に注意してお話の展開を読み取るとともに、読んだ本のおもしろかったところを紹介する。 ことばあそびうたをつくろう のりもののかたちをしらべよう いろいろなふね ・乗り物に興味を持って、書いてあることを正しく読み取り、ほかの乗り物についても調べて発表する。 ようすをおもいうかべながら おとうとねずみチロ ・登場人物の様子を思い浮かべながら読む。 どくしょかんそうぶん かたかなをかきましよう ことばのひろば 「おれ」「まがり」 ・かたかななどの「おれ」と「まがり」に注意して書くことを学ぶ。 文字のかたち ・漢字の形を考えて書くことを学ぶ。 よく見てかこう わたしのはっけん ・身の回りの生き物の様子をよく見て文章を書く。 よう日のかん字をおぼえましよう ことばのひろば じゅうさくぶん ひつじゅん ・筆順の大原則を学ぶ。 かきぞめをしよう ・これまでの学習を生かして、正月を題材に文章を丁寧に書くことを学ぶ。 かくのながさとうこう いろいろなじゃんけんについてはなしあおう じゃんけん ・じゃんけんの仕組みを読み取り、いろいろなじゃんけんのやり方や仕組みについて話し合う。 なんのなかまてしよう ことばのひろば じゅうさくぶん おはなしをたのしもう はるのゆきだるま ・様子を思い浮かべながらお話の展開を読み取り、おもしろかったところを劇や音読で発表する。 かたちを気をつけてかきましよう ことばのひろば かんじのかきかた じゅうさくぶん すきな本のかたちをかこう 本とともだち ・いろいろな本を読み、好きな本を絵や文を使って紹介する。 おはなしやうたをかこう 1ねんで学ぼうするかん字
	後期	

国語科の評価

・国語科では五つの観点で評価します。

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
国語に対する関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。	相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。	経験した事や想像したことなどについて、順序がわかるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。	書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。

・次のような方法で見えていきます。

行動観察	取り組み様子	作文	音読	テスト	感想文	評価カード	発表の内容
振り返りカード	ノート	プリント					

おうちの方へ

音読練習、漢字練習、視写、オリジナルワークシート、話す・聞く場の設定、読書活動などを取り入れ、基礎的な力を育成し興味関心を高めていきます。  
 音読は学習の基本であり、より多くの人からの肯定的評価が意欲の継続につながるため、家庭での協力をお願いします。